



一 般 質 問

携帯端末に配信する広報紙導入について



はやし 昌子
議員

質問 「いつでもどこでも手軽に読める広報紙」としてスマートフォンやタブレット端末に配信するサービスで、より情報周知の向上が図れるシステムの導入は。また、以下についてお尋ねする。

①現在の広報紙配布状況。
②より多くの住民が見やすく理解できるための工夫点。
③「くらしの便利帳」の電子化は。
④フェイスブックやツイッターでの情報伝達の充実は。
⑤広報みほの自動配信サービス導入、i 広報紙の導入。

答弁 (総務部長) ①11月30

日現在、5,795冊を配布。うち郵送数149件で個人宛93件、年間15万3,360円の郵送料がかかっている。②見出しは大きめに、小さい文字をなるべく使わない。必要最小限の説明と詰め込みすぎないこと、挿絵等を入れる。③平成28年度に新たに発行予定。④ホームページの※CMS機能とフェイスブックの連動上の問題、また、ツイッターの文字数制限と財政上の兼ね合いを含め検討する。⑤自治体の広報紙掲載が営利に利用



される懸念がある。利点を検討し、慎重に対応する。

答弁 (村長) ⑤那珂市で導入している部分を検証する。

その上で、住民に利便性が図られるなら少しでも前進していきたい。

ロタウイルス予防接種
助成について

質問 前回の質問時、「近隣の動向を見て検討する」との

答弁。助成実施の自治体が増えていく今、公費助成については、どのようにお考えか。

①任意接種のおたふく風邪とインフルエンザ予防接種の助成実績。

②ロタウイルスの助成をしたときの予算予想額。

③来年度からの公費助成は。

答弁 (保健福祉部長) ①イ

ンフルエンザが3年間の合計491万6,960円、おた



ふく風邪75万8,520円。
②2回の接種で360万円の公費負担となる。ワクチンの価格高騰のため、かなり負担が大きくなる。

答弁 (村長) ③健康被害が

間違いないと出ないという厚生労働省の発表が分かり次第、途中からでも実施をしたい。

※CMSとは

コンテンツ・マネジメント・システムの略で、Webサイトを管理・更新できるシステムのこと。